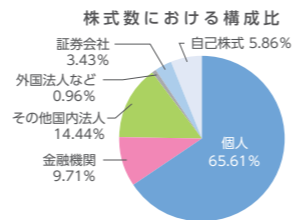


(注) 記載した数値は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 普通株式 8,800,000 株  
 発行済株式総数 普通株式 2,552,946 株  
 (自己株式149,536株を含む)  
 単元株式数 100 株  
 株主数 3,051 名



大株主	株主名	持株数	持株比率
	三栄コーポレーション取引先持株会	148千株	6.19%
	(株)三菱UFJ銀行	114	4.75
	東銀リース(株)	111	4.64
	SMB C日興証券(株)	75	3.13
	三栄グループ従業員持株会	63	2.64
	(株)三井住友銀行	63	2.62
	水谷 裕之	57	2.39
	秋元 利規	55	2.29
	綜通(株)	49	2.06
	村瀬 司	42	1.77

(注) 1. 持株数は表示単位未満を切り捨て、持株比率は小数第3位を四捨五入して表示しております。  
 2. 持株比率は自己株式を除いて算出してあります。  
 3. 当社では自己株式を149,536株保有しております。

株主メモ (2023年9月30日現在)

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで  
 定時株主総会 6月に開催  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日  
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)  
 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行証券代行部  
 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 (郵便物送付先) 電話照会先 電子公告の方法により行います。  
 公告掲載URL <https://www.sanyaicorp.com/>  
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

● 中間配当金のお知らせ  
 第75期中間配当金として、1株につき10円をお支払いいたします。口座振込をご指定の株主様には、2023年12月1日にご指定の口座にお振込みいたします。口座振込をご指定でない株主様は、中間配当金領収証により、2023年12月1日から2024年1月5日までの間に、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

# 株主通信

~To Our Stock Holders~

第2四半期決算報告

2023年4月1日~2023年9月30日

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け引下げ後、経済活動は一段と正常化に向かいました。一方で、長期化するウクライナ情勢、原材料・資源価格の上昇、円安地合いの継続・進行や、これらに端を発した物価上昇など、わが国を取巻く内外環境には、様々なリスク要因が残っており、依然として先行き不透明な状況が継続しています。

かかる状況下、当社グループは、コスト構造の抜本的な見直しに鋭意取り組み、同時に、長年のテーマである「健康と環境」という価値観の普遍性と「モノづくり」の重要性を再確認してまいりました。

また、中期経営戦略『SANYEI 2025』を策定し、最終年度である2025年度には、売上高500億円、経常利益20億円の達成を目指し、海外取引の拡大、EC事業の強化、「健康と環境」に則ったサステナブルビジネスの追求を成長ドライバーとして、全社一丸となって、取り組みを進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%減少の170億4千8百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比7億9千4百万円改善の5億1千万円となりました。

通期の見通しにつきましては、原材料の高騰や輸送コストの上昇など厳しい状況が継続する見通しで、売上高は当初発表の360億円を若干下回る見込みです。一方で、営業利益の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初発表の3千万円から大きく改善が見込める状況となっています。

当期の中間配当金につきましては、引き続き不透明な状況が継続することから、2023年5月23日公表の配当予想の通り、1株につき10円とさせていただきます。

なお、機動的な資本政策および株主還元策として、自己株式8万株の取得を決定したほか、2024年3月期から、株主優待制度を更に拡充させることを決定いたしました。是非当社製品をお使いいただきたく、改めてご案内する次第です。

今後も当社グループは、株主の皆様のご期待や信頼に応えられるよう企業価値の向上に邁進する所存でございますので、引き続き、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



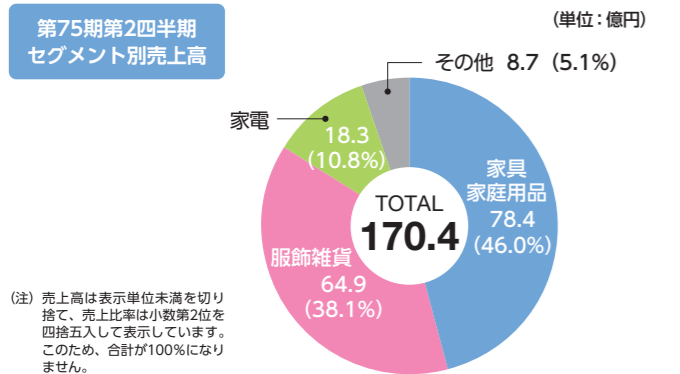
SANYEI CORPORATION



代表取締役社長  
水越 雅己

## 事業の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%減少の170億4千8百万円となりました。外食・旅行などサービス消費の増加に加えてインバウンド需要の回復を背景に、外出・トラベル関連商材の需要が増え、服飾雑貨事業セグメントの売り上げが前年同期比伸長しました。一方、巣ごもり需要の顕著な縮小や、欧州の景気低迷を主因とした海外拠点での減収を背景に、家具家庭用品事業セグメントの売り上げが前年同期比大きく減少しました。利益面につきましては、売上高は減少したものの、収益力の改善に注力した結果、売上総利益率が改善したことで、売上総利益は前年同期比3億8千万円増加の46億5千4百万円となりました。営業利益につきましては、店舗経費の減少やグループ基幹システムに係る減価償却費の減少など、販管費が前年同期比3億6千4百万円減少したことから、前年同期比7億4千4百万円改善し、4億5千9百万円の黒字となりました。経常利益は、営業損益の黒字化や為替差益の計上を主因として、前年同期比7億9千8百万円改善の5億6千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億9千4百万円増加の5億1千万円となりました。



## セグメント別概況

### 家具家庭用品事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比27.5%減少の78億4千4百万円となりました。コロナ禍から経済活動が正常化へ移行する中、巣ごもり消費が大幅に落ち込んだことや、欧州の景気低迷の影響もあり、国内外のOEM事業を中心に売り上げが大きく減少しました。ブランド事業においても、ドイツのテーブルウェアブランド「Villeroy & Boch (ビレロイアンドボッホ)」等を取扱う株式会社エッセンコーポレーションや「MINT (ミント)」などの家具・インテリアのネットショップの売り上げが、前年同期比減少しました。セグメント利益については、売上総利益率の改善や販管費も減少したものの、売上高の減少を主因として、前年同期比1億8千8百万円減少の2億円となりました。

### 家電事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比5.3%減少の18億3千6百万円となりました。OEM事業では、季節商品の受注増などにより前年同期比増加となりました。ブランド事業においては、理美容家電の売り上げは堅調に推移したものの、調理家電においては、巣ごもり需要縮小の影響や海外向け販売が前

### 服飾雑貨事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比41.0%増加の64億9千6百万円となりました。外出・トラベル関連の旺盛な需要増を受け、関連商材の売り上げが前年同期比大幅に回復しており、特にOEM事業において売上高を押し上げました。ブランド事業においても、ベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling (キプリング)」を販売する株式会社L&Sコーポレーションの売り上げが増加しましたが、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK (ビルケンシュトック)」等を販売する株式会社ベネクシーは、事業再編の途上であり、売上高は前年同期比減少となりました。セグメント利益については、売上高の増加に加え、ブランド子会社での採算性向上を主因に、前年同期比6億7千5百万円増加の5億7千6百万円となりました。

年同期比伸び悩んだことなどから、全体として前年同期比減少となりました。なお、理美容家電・調理家電のブランド販売子会社株式会社ゼリクコーポレーションは2023年4月1日付けで当社に吸収合併(簡易合併・略式合併)しております。セグメント利益については、売上高は減少したものの、売上総利益率の改善や販管費の削減により、前年同期比1億8千6百万円改善し、3千4百万円の損失となりました。

## 会社概要 / 役員一覧 / 主要な関係会社

### 会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社三栄コーポレーション	
創業年月	1946年10月	
設立年月日	1950年2月20日	
資本金	10億91万4,500円	
従業員数	連結911名 (契約社員含む)	
本社	〒111-8682 東京都台東区寿四丁目1番2号 三栄寿ビル 電話 03-3847-3500 (代表)	
事業所	福岡 (福岡県福岡市)	
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード: 8119)	

当社公式サイト

### 役員一覧 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	水越 雅己	[社外]取締役 (監査等委員)	杉田 雪絵
取締役会長	小林 敬幸	[社外]取締役 (監査等委員)	山崎 雄一郎
取締役	高橋 哲也	執行役員	新井 三郎
取締役	上瀧 準也	執行役員	小平 敏之
取締役 (監査等委員)	清水 誠二	執行役員	福原 智成
		執行役員	海野 祥之

### 主要な関係会社 (2023年9月30日現在)

国内関係会社	株式会社ベネクシー 株式会社L&Sコーポレーション 株式会社ペピカ 株式会社リリーベット 株式会社エッセンコーポレーション 株式会社サムコ 三栄興産株式会社
海外関係会社	TRIACE LIMITED 三栄洋行有限公司 三發電器製造廠有限公司 三發電器製品 (東莞) 有限公司 三栄貿易 (深圳) 有限公司 三華國際貿易 (上海) 有限公司 台湾三栄貿易股份有限公司 SANYEI CORPORATION (MALAYSIA) SDN.BHD. TRIACE VIETNAM COMPANY LIMITED SANYEI (DEUTSCHLAND) G.m.b.H

## TOPICS

### BENEXY

#### オリジナルブランド BENEXY (ベネクシー) 初登場

フットウェア小売と修理事業を通じて20年以上にわたり、お客様の「足」に寄り添ってきた株式会社ベネクシーが、その経験・技術の集大成として、企業名でもある「BENEXY」を冠に掲げた新規オリジナルフットウェアブランド「BENEXY (ベネクシー)」を立ち上げました。

「BENEXY」は、ラテン語の「善・良」を表す「BENE」に、広がりを持たせる「XY」を掛け合わせたオリジナルワードであり、「真に善(良)いものを広めていきたい」という、企業アイデンティティに由来します。そのDNAを体現すべく、永年愛されてきたこだわりの本革素材の採用や独自開発のインソール、「日本のものづくり」の強みを活かしたファクトリーを起用するなど、「カイトキ」な履き心地とフィッティングにとことんこだわったフットウェアが誕生しました。BENEXY (ベネクシー) 店舗をはじめ、Quorinest (クオリネスト) 店舗、およびベネクシーオンラインショップにてクロック、シューズおよびソックスを順次発売。2024年春からはサンダルもラインナップに加わります。BENEXYは、大切に未長く履いていただける一足をお届けします。

### Pepica

パウハウス水元店 どうぶつ病院を併設した「ペピカファミリー水元店」へリニューアル

2023年11月10日、パウハウス水元店は、1階は商品店舗、2階には個室を備えたグルーミングサロンとどうぶつ病院+ペットホテルを併設したペピカファミリー水元店としてグランドオープンいたしました。店内の商品は、お客様の声を反映し厳選した専門店商材を中心に取り揃え、トータルサポートができる総合ペットショップとして、パウハウスからペピカファミリーにリニューアル。地域に根付いた総合ペットショップとして新しくスタートいたしました。

### SANYEI CORPORATION

#### 【自己株式の取得】

当社は、将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行と、株主の皆様への利益還元の実現を図るため、2023年7月28日開催の取締役会において自己株式(上限株数80,000株、上限金額2億円)の取得を決議しました。

#### 【株主優待制度の拡充】

株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を込めるとともに、当社株式への投資の魅力を高め、また、当社グループの取扱商品やブランドに、より一層親しんでいただくことを目的として、2024年3月期の株主優待から、株主優待制度を拡充いたします。詳細は、公式サイトでのニュースリリース(2023年8月28日付開示)をご覧ください。  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8119/tdnet/2332360/00.pdf>

\*2023年3月期の株主優待商品の一例です。

表紙写真: 当社のサステナブルプロジェクト「Our EARTH Project」の取り組みの一環として生まれた腕時計の自社企画ブランド「YOT WATCH (ヨットウォッチ)」。子供たちが使っていたプラスチックのおもちゃをリサイクルして作られた、カラフルな腕時計です。